

2015年3月期第2四半期（中間）決算記者会見資料

①契約の状況等

		2014年9月期		14年3月期	13年9月期
			14/3期比		
新契約年換算保険料	(百万円)	29,690	—	37.1%増	41,554
うち第三分野	(百万円)	3,917	—	24.6%増	6,718
保有契約年換算保険料	(百万円)	645,501	1.6%増	1.5%増	635,494
うち第三分野	(百万円)	97,674	0.4%減	1.3%減	98,044
保険料等収入	(百万円)	469,728	—	33.6%増	655,233
うち個人保険分野	(百万円)	375,551	—	34.2%増	538,310
うち団体保険分野	(百万円)	93,352	—	31.5%増	115,419
新契約高	(百万円)	1,506,396	—	7.9%増	2,696,671
保有契約高	(百万円)	21,979,733	1.8%増	3.0%増	21,595,680
解約・失効高	(百万円)	643,942	—	3.2%増	1,255,419
解約・失効率	(%)	2.98	—	0.01ポイント上昇	5.97

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等）。

※保険料等収入は損益計算書ベース。

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料。

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出。

※3月期比、9月期比は増減率（解約・失効率は増減ポイント）。

②資産の状況等

		2014年9月末		14年3月末	13年9月末
			14/3末比		
総資産	(百万円)	7,006,040	3.6%増	3.9%増	6,760,825
実質純資産額	(百万円)	973,104	13.7%増	16.0%増	856,213
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	13.9	1.2%↑	1.5%↑	12.7
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,037.5	56.2%↑	204.4%↑	981.3

※3月末比、9月末比は増減率（実質純資産額／一般勘定資産及びソルベンシー・マージン比率は増減ポイント）。

③基礎利益・逆ざや

		2014年9月期		14年3月期	13年9月期
			14/3期比		
基礎利益	(百万円)	38,249	—	4.7%増	72,611

※9月期比は増減率。

		2015年3月末の予想	2014年3月末の実額
逆ざや額（正值の場合は順ざや額）	(百万円)	8,000	11,756

④準備金

		2014年9月末		14年3月末	13年9月末
			14/3末比		
責任準備金（除く危険準備金）	(百万円)	6,026,145	158,626増	178,761増	5,867,518
うち一般勘定（除く危険準備金）	(百万円)	6,025,849	158,611増	178,737増	5,867,238
うち特別勘定（除く危険準備金）	(百万円)	295	15増	24増	280
価格変動準備金	(百万円)	75,963	1,342増	6,399増	74,620
危険準備金	(百万円)	68,987	91増	7,971減	68,896
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	34,539	448減	790減	34,987
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	25,390	378増	7,424減	25,011
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	13	—	—	13
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	9,045	160増	243増	8,884
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—
別途積立金	(百万円)	40,000	—	—	40,000

※危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載。

※3月末比、9月末比は増減実額。

⑤含み損益

		2014年9月末			14年3月末	13年9月末
			14/3末比	13/9末比		
有価証券	(百万円)	590,457	113,435 増	112,902 増	477,021	477,555
うち国内株式	(百万円)	187,457	31,809 増	5,165 増	155,647	182,292
うち国内債券	(百万円)	241,551	33,404 増	43,261 増	208,146	198,289
うち外国証券	(百万円)	146,918	45,798 増	63,851 増	101,119	83,066
不動産	(百万円)	1,515	158 増	1,608 増	1,356	△ 92

※有価証券の含み損益は、時価のある有価証券の含み損益を記載。

※内外株式の時価及び外貨建資産の為替については、各月末の時価及び為替を採用。

※不動産の含み損益は国内不動産（含む借地権）を対象とし、再評価後の含み損益を記載。

※3月末比、9月末比は増減実額。

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式	(百万円)	38,887減	やや増加
国内債券	(百万円)	47,676増	やや減少
外国株式等	(百万円)	625減	横ばい
外国債券	(百万円)	99,193増	やや増加
不動産	(百万円)	2,397増	横ばい

※上記実績は、帳簿価額ベースでの増減を記載。

⑦資産の損益がゼロになる水準

		2014年9月末時点
国内株式（日経平均）	(円)	9,000程度
国内株式（TOPIX）	(株/1ト)	740程度
国内債券	(%)	1.2程度
外国証券	(円)	100程度

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出。

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出。

※外国証券の為替ゼロ水準は、ドル円換算にて算出。

⑧2015年3月期の業績見通し

		2015年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	730,000
基礎利益	(百万円)	66,000
保有契約高	(百万円)	22,250,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	650,000

※保有契約高は個人保険+個人年金保険。

※上記業績見通しは今後様々な要因によって、実際の業績と大きく異なることがあります。

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行等からの拠出(総額)

		2014年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	-
劣後ローン	(百万円)	64,500

ii 銀行への拠出(総額)

		2014年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	24,444
劣後ローン等	(百万円)	144,403

※邦銀への拠出について算出。

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び優先出資証券。

⑩職員数

		2014年9月末			14年3月末	13年9月末
			14/3末比	13/9末比		
営業職員	(人)	8,480	1.4%減	2.5%減	8,603	8,697
内勤職員	(人)	2,545	1.4%減	5.2%減	2,582	2,684

※3月末比、9月末比は増減率。

⑪銀行窓販の状況

			2014年9月期		14年3月期	13年9月期
			13/9期比			
変額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
定額年金保険	新契約件数	(件)	24,333	55.0%増	29,025	15,696
	金額(収入保険料)	(百万円)	141,084	62.6%増	153,839	86,743

			2014年9月期		14年3月期	13年9月期
			13/9期比			
一時払終身	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

<全面解禁商品>			2014年9月期		14年3月期	13年9月期
			13/9期比			
平準払商品*	新契約件数	(件)	8,866	2,335.7%増	2,041	364
	金額(収入保険料)	(百万円)	1,684	6,396.0%増	332	25

\*無配当入院保険(無解約払戻金型)・無配当手術保険(無解約払戻金型)・5年ごと利差配当付こども保険

・無配当無選択医療保険(無解約払戻金型)・無配当終身生活介護年金保険(低解約払戻金型)

※2008年1月より信用組合での窓口販売を開始。

※金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載。

## その他質問項目（2015年3月期 第2四半期）

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2014年9月期	2014年3月期	2013年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	－	－	－

※戻入額についてはマイナスで表示